

せんなん里海公園整備事業



位置図



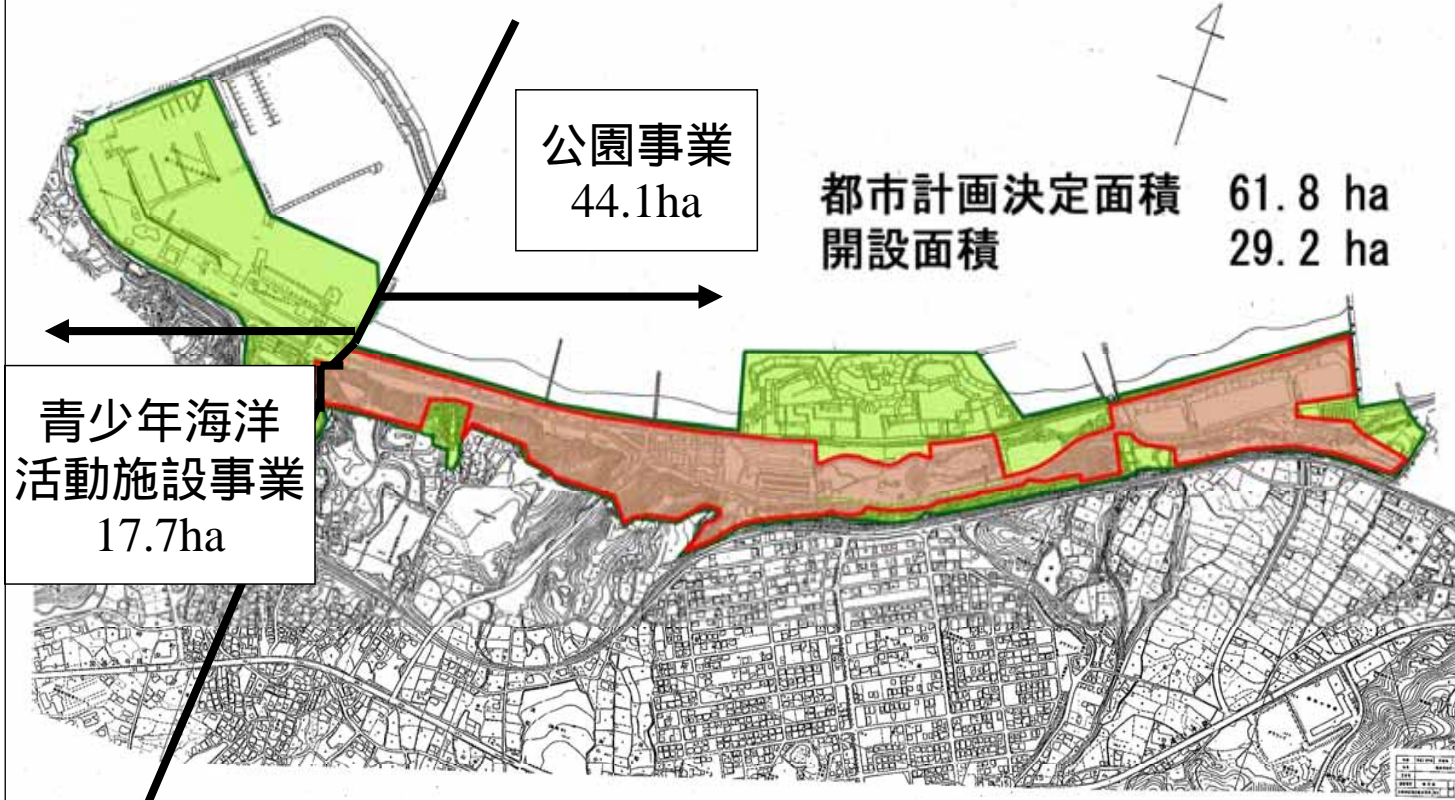
概要

- S45 ~ 青少年海洋活動施設事業
府立青少年海洋センター等
- S47 ~ 海岸環境整備事業
人工海浜緑地 等
- H5年 ~ 公園事業
「せんなん里海公園」

公園全体計画

- 都市計画決定面積 61.8ha
- 青少年海洋活動施設事業 17.7ha
- 公園事業 44.1ha
- うち開設面積 29.2ha(H17.3.末)
- 未開設面積 14.9ha
- (事業認可区域 5.4ha
- 事業認可追加予定区域 9.5ha)

都市計画決定区域と開設区域



主要施設(開設区域)



ビーチバレーコート



風車の丘



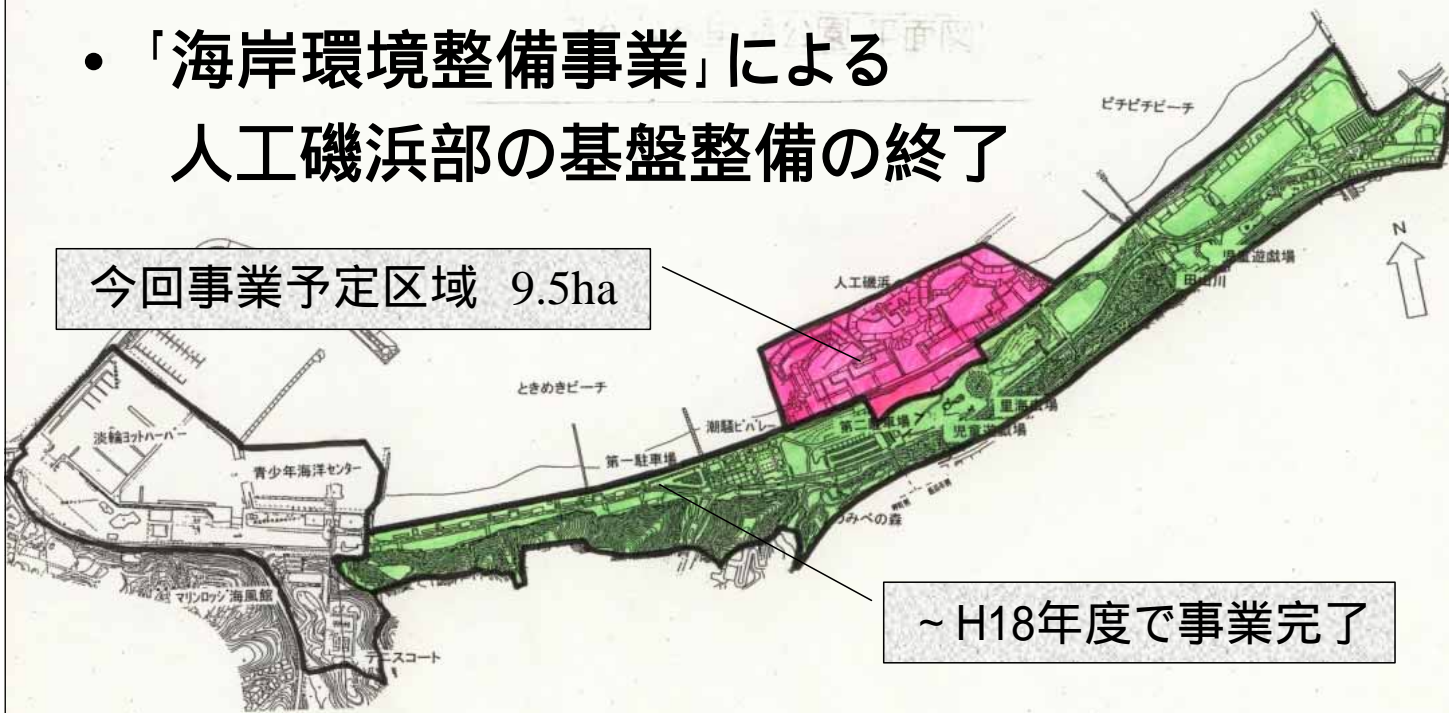
里海広場



児童遊戯場

計画地 現況

- ~H18で、陸地側の事業区域完了
- 「海岸環境整備事業」による人工磯浜部の基盤整備の終了



・護岸が磯浜部と既設公園を分断

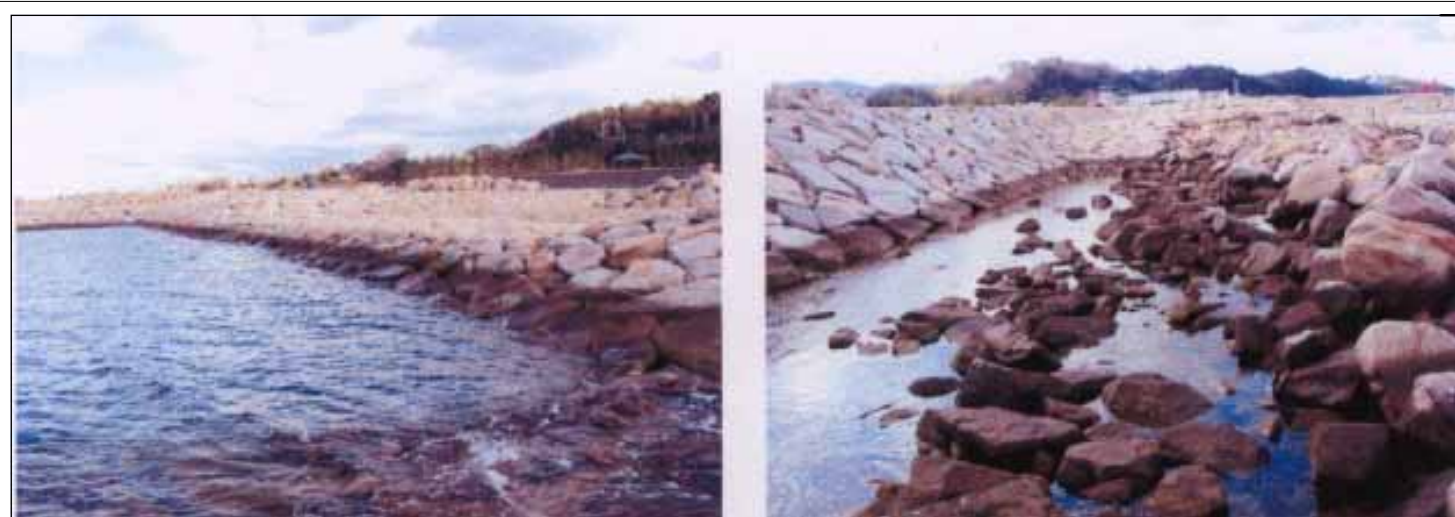


磯浜側



既設公園側

9

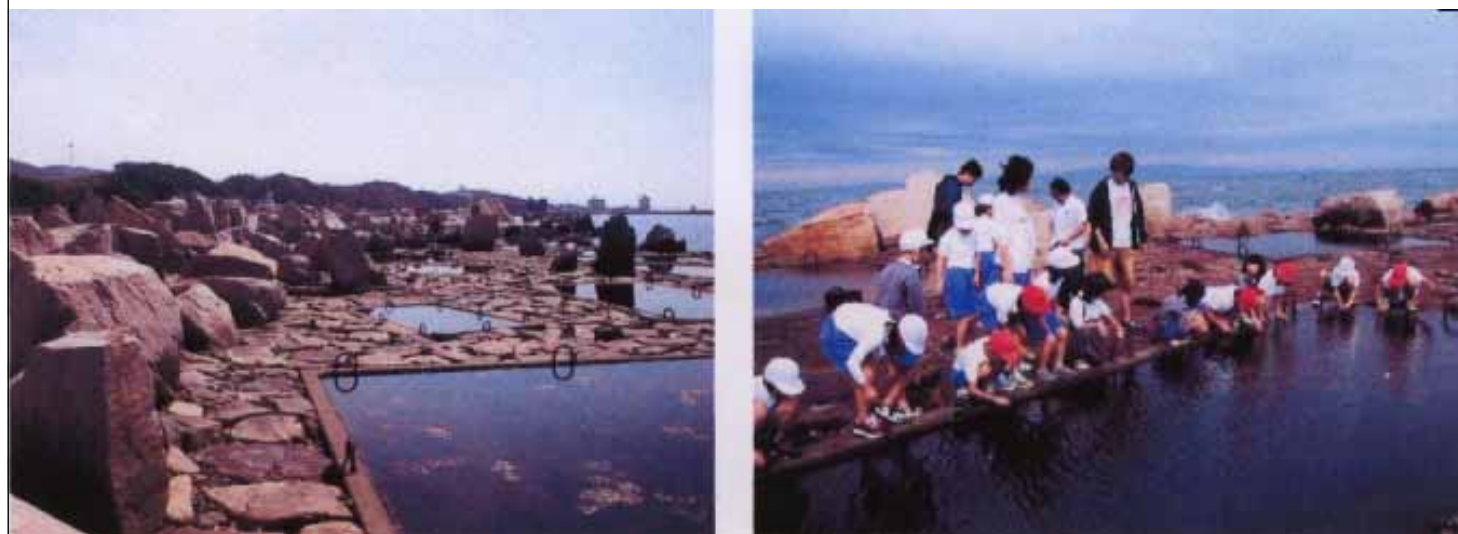


急傾斜護岸



被覆石の間が大きく海面へのアクセス困難

10



タイドプールへのアクセス困難

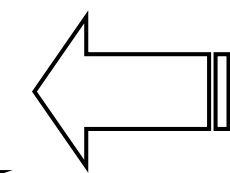
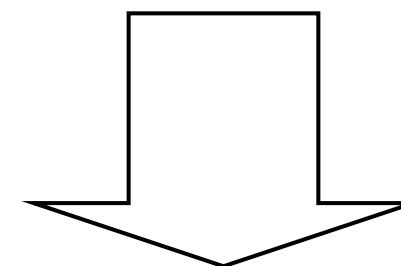
周りから覗きこむだけの形状

11

事業の必要性

(計画地の現状)

- ・ 危険な急傾斜護岸
- ・ 海面へのアクセス困難
- ・ 公園としての利便、快適性に問題



地域の環境問題
に対する関心の高まり

事業を継続し、事業効果の拡大を図りたい。

12

計画 概要

- 面積 9.5ha
- 全体事業費 約11.4億円
(工事単価 約1.2万円/m²)
- 主要施設 人工磯浜
(散策園路、休憩所ほか)
里と海の交流館(1箇所)ほか

13

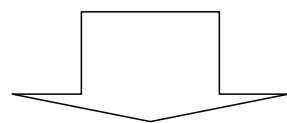
整備 計画

- コンセプト 「里海」が育む人・自然
- 整備方針 現状の人工磯浜の形態を活かす
自然の力を生かして多様性を高める
散策や休憩のための環境づくり
自由な活動を促す「安全対策」
- 特色 磯の生態に着目した
「大阪湾岸最大の親水空間」

14

運営の方向性

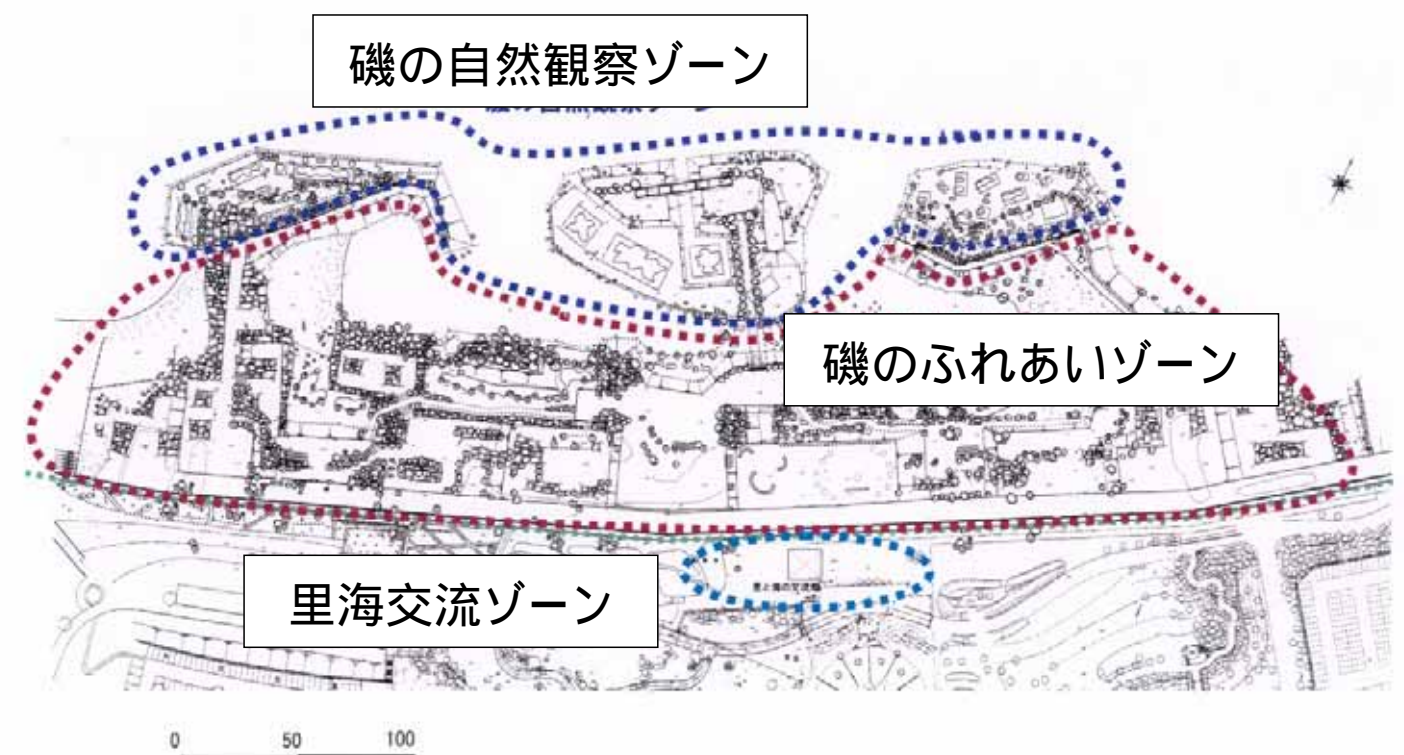
- 安全に対する管理者及び来園者の
共通認識
- 様々な環境教育プログラムの提供



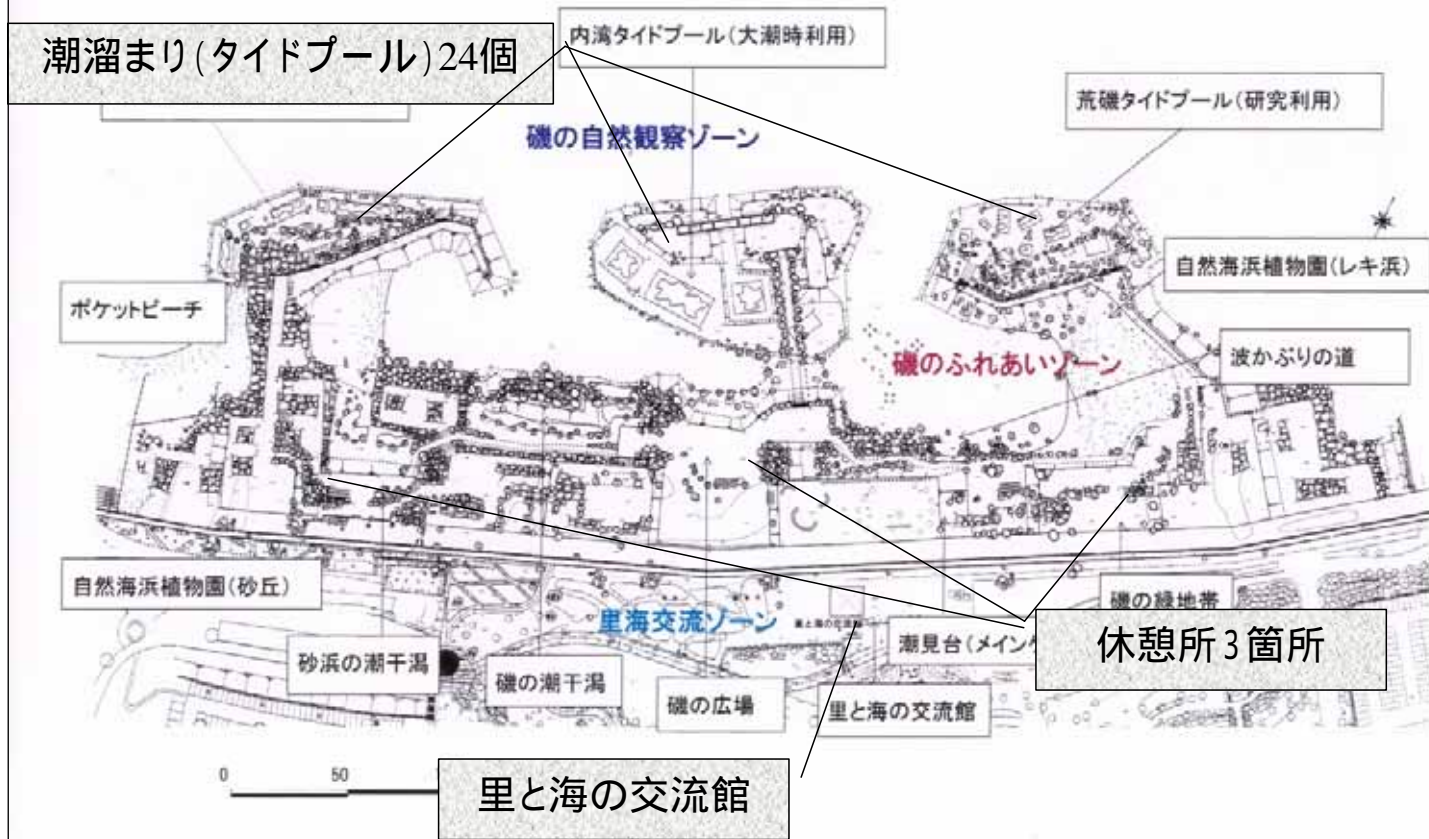
「地域との役割分担」を含めた
整備段階からの連携の重要性

15

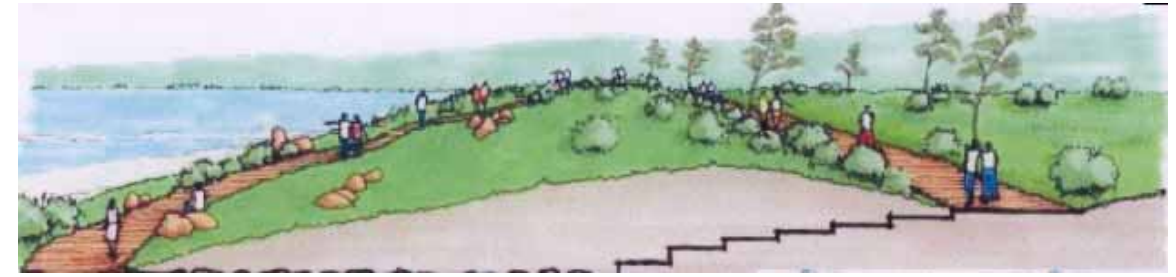
ゾーニング



施設計画平面図(主要施設)



整備イメージ(磯のふれあいゾーン)



緑地帯をもうけ磯浜と公園側との連続性を確保



幼児や子どもでも安心して遊べる磯浜空間

18

整備イメージ(磯のふれあいゾーン)



ユニバーサルデザインに配慮、水際にも動線を確保

整備イメージ(里と海の交流館)

- 海辺の自然を学べる展示スペース
- ボランティアなどの交流の場
- 安全講習や器具の貸し出しスペース
- トイレ、休憩所

(施設内容については、地域、ボランティア団体らとの役割分担をもとに今後決定)

20

自主活動の高まり・総合学習との連携

～ 10団体 約850人のボランティア活動～



海藻を使った押し葉イベント



地元小学校による総合学習

21

地域との協働による公園づくり

- 平成15年度から、地域住民や学識者、ボランティア団体、行政関係者らによる「環境ふれあいワークショップ」を開催
公園の整備管理手法について検討
- 公園が「地域の共有財産」であり続けるための「継続した意見交換の場」の重要性

22

地域との協働による公園づくり



地域との協働における「継続した意見交換の場」の重要性



「地域の共有財産」
となる公園を目指して

23